

図書館だより

2004(平成16)年

10月 1日発行 第19号

TEL(0952) 52-4191 FAX(0952) 53-7869

Serendipity

セレンディピティ

発行：西九州大学附属図書館

<http://www.nisikyu-u.ac.jp/library/home.html>

理想の図書館像を求めて !!



2003年度私立大学図書館協会西地区部会研究会 発表風景

研究発表 「図書館サービスとインターネットー小規模図書館の取り組みー」

発表者：西九州大学附属図書館 西村 明日香

I T型図書館をめざして…

中期目標・中期計画（平成16年度～21年度）の策定

少子高齢化が進むなか、国公私立を問わず大学の淘汰が真剣に取り沙汰されるようになって久しく、本学でも生き残りをかけた取組が模索されています。図書館でも I T型図書館を合言葉に今後の指針が策定されました。

(関連記事 → P. 2)

新CAT／ILLへの移行と図書館システムのリプレイス

OPACがとても使いやすくなりました。ネットで利用できるWeb-OPACも利便性が向上しています。

皆様の積極的なご利用をお待ちしています。

目 次

私のオススメの本	P. 1
社会福祉学科 柴田 和子 講師		
私と図書館①	P. 3
健康栄養学科4年 岩木 知幸		
私と図書館②	P. 4
社会福祉学科4年 市山 高太郎		
図書館用語解説	P. 3
図書館利用状況	P. 5
壁に耳あり、 障子に目あり	P. 6

私のオススメの本

『詩集 旅立ちの時がきた』
著者：不知火 文芸社 定価 1,155 円
社会福祉学科 講師 柴田和子



社会福祉学科介護福祉コース2年生介護概論IIの初回授業後、突然ヒヨッコリと学生の西依知美さんが「先生、本を出版したから読んでください」と普段の彼女と変わらない淡々とした表情で教卓に近寄ってきました。彼女の読書好きは「相当なもの」ぐらいしか知り得ていなかつたので、最初は半信半疑で呆然としていました。

西依さんとは、彼女が本学に入学以来の学食仲間で、一緒に昼食を囲んであれこれと会話をする関係でしたので、自分の信念をもってハッキリものが言える感性豊かな学生という印象でした。その頃から何かしら自分の世界があるとは思っていましたが、今まで本人から詩を書いているといったことは、全然聞いていませんでしたので、本を手にしたときは大いに驚きました。

早速読ませていただきましたが、彼女の感性の深さ、19歳のみずみずしい言葉で描く人間の存在そのものに、私自身の遠い記憶の底に忘れていた青春の断片が懐かしく黄泉がえってきました。

西依さんが描く『詩集 旅立ちの時がきた』は、19歳の第一詩集ということで、恐れることを恐れてはいけない！旅・不知火・闇・平和・世界の構成で、詩50編がみずみずしいタッチで掲載されています。

そこで、著者である西依知美(ペンネーム：不知火)の描く言葉の原点を探求するために本人に6つの質問をしましたので、ここにご紹介します。

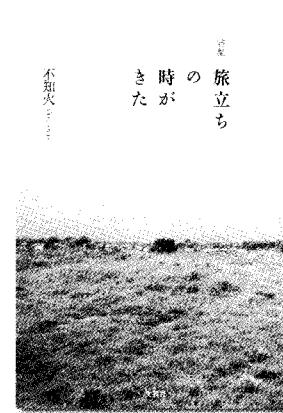
Q1：出版までのいきさつ

高校時代は、「あなたの原稿を本

にしませんか」という文芸社の欄を、たまに目にしていた程度で、その当時は中学の時から書いていた長編ものを出したいと思っていました。まだ書き終わっていなかったので、出したいと思いつづつ先送りになっていました。大学に入学して3ヶ月ほどして、詩ならどうかと思って出版社に送ってみたところ、「共同出版をしましょう」と返信が着いたのが始まりです。

Q2：詩を書き始めたのは

中学の頃からで、元々は物語を書くことが多く、初めて物語というか絵本を描いたのが、3才位の時だったようです。



Q3：どのような時に書いているか
インスピレーションの一語に尽きます。

Q4：詩を書き始めて、自分の中で何が変化は

大学生活でいろんな事にチャレンジしたかったので、本の出版で「これで一歩前進した」と思っています。次は物語出版に向けて邁進したいと

思っています。

Q5：『詩集 旅立ちの時がきた』を通してどのようなメッセージを届けたいか

ある特定の人に宛てた詩は、その人に届いてくれたらと思っています。そのほかの詩に関しては、「こういう考え方もある」といろんな人に伝わればと思っています。

Q6：これから夢

作家と介護福祉士になることです。あと、いろんな所を旅してみたいです。

今年夏に初めて体験する介護福祉実習に向け、少しづつ緊張を覚えながらのひと時、西依さんの誠実な人柄にあらためて触れさせてもらいました。これからも様々な体験を通して、「生きることの意味」や「他人を思いやる心」など多くのメッセージを発信して、西依ワールドの広がりを期待しています。

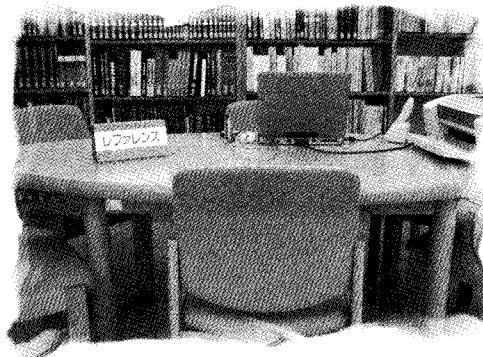
***** コーナー紹介 *****

レファレンスコーナー

レファレンスコーナーは、みなさんが求める資料や情報を入手できるように図書館員が直接援助するコーナーです。

また、その為に必要な資料や情報を探すための参考図書をたくさん揃えています。

カウンターでは資料がどこにあるかなどの簡単な質問を、レファレンスコーナーでは調査が必要な高度な質問の受付を行います。



中期目標・中期計画（平成16年度～21年度）の策定

中期目標・中期計画では、① I T型図書館、②蔵書の充実、③施設の拡充、④その他について、実現に向けた検討がなされました。

① I T型図書館では、電子図書館化を図るうえで、i. 資料のデジタル化、ii. 資料の電子的送信、iii. S D I の導入、iv. 図書館HPの充実、v. I T機器の整備などに取り組むこと、②蔵書の充実では、バランスの取れた蔵書構成を図ること、③施設の拡充では、総合的機能を有する図書館が必要で、今後の課題として検討されることになり、④その他では、第三者評価機関の評価に耐え得る活動をしていくことになりました。

※16年度アクションプログラム

当面の課題として16年度に次の3項目が実施されます。

1. I T型図書館としての拡充整備構想の検討
2. 電子図書館のためのシステム整備
3. 「西九州大学附属図書館35年のあゆみ」の発行

私と図書館 ①

健康栄養学科 4 年 岩木 知幸



「図書館＝まじめ」というイメージをお持ちの人が多いと思います。実際、私も高校生までは図書館で調べ物をしたり、勉強をすることがなんとなく恥ずかしく思っていました。しかし、図書館はとても快適な空間です。なぜこのような考えに変わったのかを紹介します。

1、2年のころは、レポートでどうしても足を運ばなければいけませんでした。最初は仕方なくでしたが、自分で本を調べてみると案外おもしろいものです。調べたい本以外の図書に目が行ってしまいます。自分の興味のある本を手に取り少しづつ立ち読みてしまい、目的を達成できないで休み時間が終わってしまったりしたものです。そのうち自分から図書館に足を運ぶようになっていきました。また、時間のあまり無いときはパソコンを利用して図書を調べていました。

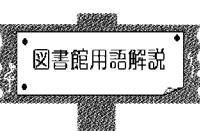
3年生では、主に勉強するために使っていました。家に帰っても勉強しないので真剣にレポートや宿題を大学で終わらせしていました。その分、大学以外では勉強せず真剣に遊んでいました。

4年生になると、調べものが増えてき

て、西九州大学の図書館では手に入らない図書がでてくるようになりました。その上、新しい図書が少ない気がしていました。そのことを相談すると、他の大学の図書館から借りたり複写の取り寄せが出来ることを知りました。1年の図書館オリエンテーションの時に説明があったのですが、その時の私には必要がなかったので忘れていました・・・。また西九州大学の図書館に、図書の種類が少ないので学生からの図書購入の希望が少ないと知りました。図書購入の希望は先生方がほとんどなので専門的な本が多く、図書の種類が少ないのであります。学生の視点から本の購入ができていないからなのです。

最後に皆さんに頼みごとがあります。自分のため、後輩のために必要だと思う図書は購入希望をどんどんしてください。専門分野以外の小説や自分の興味のある本、何でもかまいません。

勉強のためだけでなく楽しみの一つとして自分に合った方法で図書館を利用してください。



よく使う用語なので覚えてください!!

☆閲覧室（えつらんしつ）

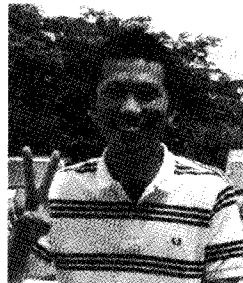
図書館内で、本を読んだり、調べるために読書机とイスを備えた部屋のことをいいます。

☆集密書架（しゅうみつしょか）

書架の間隔を詰められるように作られた可動式の本棚で、本館では地下 1 階に並んでいます。

私と図書館 ②

社会福祉学科 4年 市山高太郎



私は、今まで図書館に行く頻度がとても少なく、本を読むことも嫌いでした。しかし、4年になり急に図書館の利用頻度が増えました。そのきっかけについて書きたいと思います。

誰にでも、自分のやりたい事があると思います。例えば、サークル活動や卒論の研究、趣味、お菓子作り、ボランティア活動等です。こういった活動をしている際、興味・関心があればあるほど、より質を高め、より楽しみ、よりよい人間関係を築きたいと思いつき一生懸命になるのではないでしょうか。しかしその反面、今の現状をより良い物へと変える事の大変さから、疑問や問題に直面し、悩みも増える事だと思います。そんな時、私が真っ先に相談に行っていた場所が、先生の研究室でした。毎日のように問題や悩みを抱

え研究室へ行くと、ある日先生が1冊の本を、私に貸してくださいました。その本を読んだ時、私の問い合わせに対し、丁寧に答えてくれ、勇気さえもらったような気がしました。この時、初めて本のすばらしさに気づかされました。これがきっかけで、それ以来私は、よく図書館に行くようになりました。図書館に行っては、私の求めている本を探し、読んで納得し、たくさんのことと図書館から与えてもらいました。

私にとって図書館とは、よき相談相手でありアドバイザーでもあります。私の抱えている問題や疑問に対し、いつも事細かく丁寧に教えてくれます。あなたも問題や疑問、悩み等あれば是非図書館に寄ってみてはいかがですか。

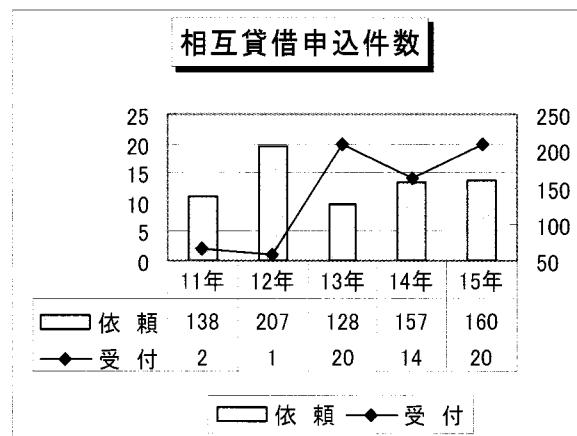
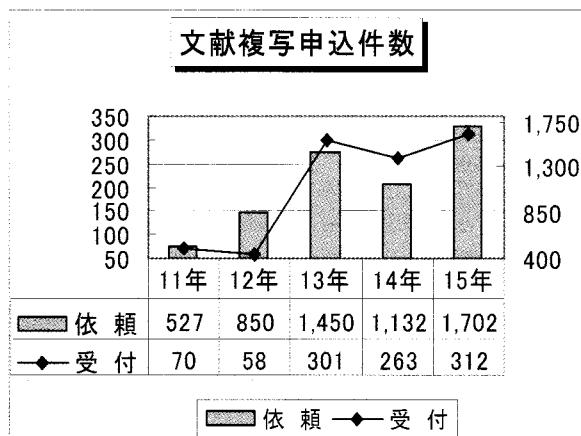
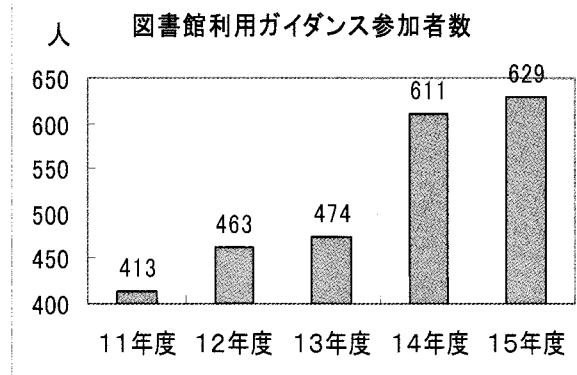
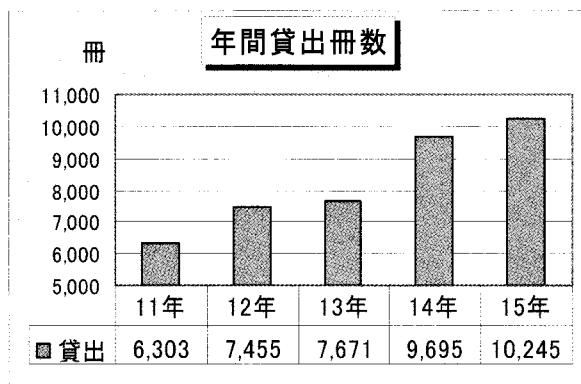
図書館の研修視察（2004年3月4日）

「九州看護福祉大学附属図書館」から、図書館長や図書館運営委員長など6名の方が、本学の図書館に研修視察に来訪されました。

相互協力を進めるうえでの親睦も目的のひとつでしたが、具体的なこととして、①福祉分野の選書・集書方針、②図書館ガイドンス、③図書館システム「情報館」について質問や意見の交換がなされました。

両大学図書館にとって、大変有意義な交流となりました。

図書館利用状況

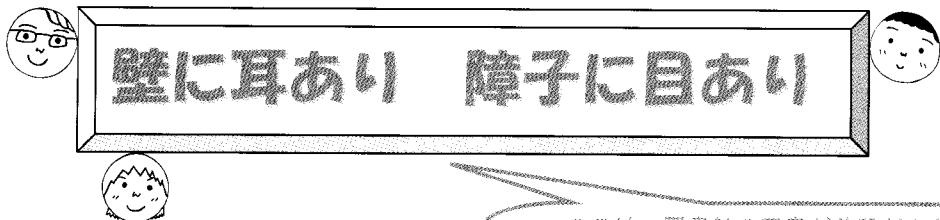


土曜日開館日数と利用者数
(平成15年度)

開館日数 18日 利用者数 457人

学外者の利用状況
(平成14～15年度)

14年度 利用者数 178人
15年度 利用者数 204人 貸出冊数 154冊



第3回 “資料の探し方”

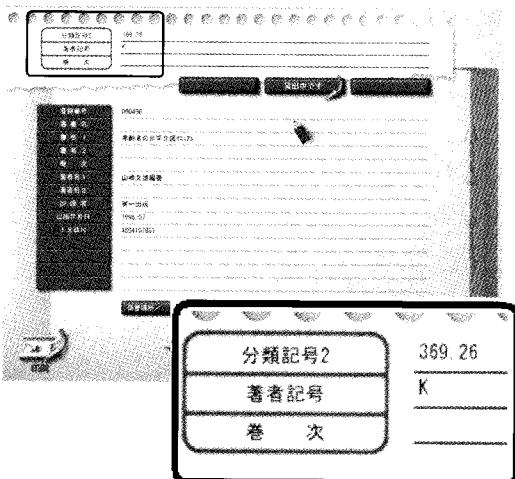
：最近、OPACで検索した後に所蔵資料の場所が分からなくてカウンターに聞きに来る人が多い気がする・・・。

：OPACで検索してもその内容が理解できていないんでしょうね。

：OPACでは書名や著者名の他に資料がどこにあるかが分かるのに、どこを見ればいいのか分かってないんだろうね。

：OPACでは図書とその他の資料で表示が違うし、検索した後の資料の探し方も違うしね。

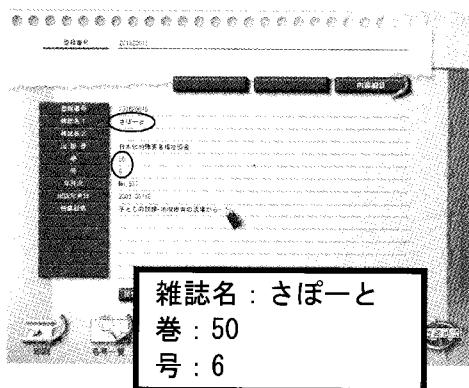
：図書の場合は画面左上に分類番号が表示されて、その分類番号の棚に行けばその図書にたどりつけますよね！あっ、でも図書の場合は1階と地下1階に本棚を分けていますから両方の閲覧室を探す必要がありました!!



：だね！その他の資料の時はまず、資料のタイトルが重要になるし・・・。あと、巻号数も重要だよね。何と言う雑誌の何巻何号か。それが分かれれば、あとは地下1階の集密書架にいけば種類別に分けてるし、雑誌な

ここは、図書館の司書が普段どんな事を考えているのかを紹介しながら皆さんにも図書館利用の問題点を考えて頂くためのコーナーです。

んかは雑誌名の五十音順に並んでいるから分かりやすいと思うけど・・・。



館内案内図

